

---

5月26日更新 半田市立博物館の方々が遺物実見のため来館しました。

---

調査研究課の尾崎です。

5月18日(水曜日)に半田市立博物館の学芸員の方々が遺物実見のため来館しました。今回、実見の対象となったのは、**蛇廻間古窯跡**(じゃばさまこようあと)(常滑市蛇廻間)、**夏敷古窯跡**(なちきこようあと)(常滑市夏敷)、**立楠古窯跡**(たちくすこようあと)(知多郡美浜町)、**奥町F古窯群**(おくまちえふこようぐん)(半田市奥町)、**刀池古窯跡群**(かたないけこようあとぐん)(知多市大興寺)、**森岡1号窯**(もりおかいちごうよう)(大府市森岡町)、**細田古窯群**(ほそだこようぐん)(知多郡美浜町)、**四池A古窯**(しいけえーこよう)(常滑市金山)、**桜鐘古窯群**(さくらがねこようぐん)(知多市佐布里)、**別岨古窯群**(べっそこようぐん)(大府市共和町)から出土した陶器です。

今回実見の対象となった土器は、6月6日(月曜日)に貸し出され、**6月11日から8月31まで開催される半田市立博物館の企画展『知多の古窯2』**に展示されます。

**ぜひ半田市立博物館へ足を運んで下さい！**



### 実見の様子

\* 蛇廻間(じゃばさま)古窯(こよう)跡: 平安時代末に操業したと推定される窯跡。甕、広口壺、片口鉢、山茶碗などが出土した。

\* 夏敷(なちき)古窯跡: 平安時代末に操業したと推定される窯跡。発掘調査によって保存状態が良好な窯体が検出された。出土したものとして、甕、広口壺、長頸壺、片口鉢、山茶碗などが出土した。

\* 立(たち)楠(くす)古窯跡: 鎌倉時代前期に操業したと推定される窯跡。灰原(失敗品が捨てられる場所)のみが発掘調査されている。山茶碗、小皿が多く出土している。

- \* 奥町(おくまち)F古窯群: 平安時代末に操業したと推定される窯跡群。窯の断面と灰原が部分的に調査されている。山茶碗、甕・壺類などが出土している。
- \* 刀(かたな)池(いけ)古窯跡群: 鎌倉時代前期に操業したと推定される窯跡群。6基の窯体が検出されている。山茶碗、小皿、甕、壺などが出土した。
- \* 森岡(もりおか)1号窯: 平安時代末から鎌倉時代に操業したと推定される窯跡。灰原のみが部分的に調査されている。山茶碗、小皿、鉢、壺などが出土した。
- \* 細田(ほそだ)古窯群: 平安時代末から鎌倉時代初期に操業したと推定される窯跡群。窯体3基と灰原が検出されている。主な遺物としては、山茶碗、小皿などが出土している。
- \* 四(し)池(いけ)A古窯: 鎌倉時代に操業したと推定される窯跡。調査時には、窯体及びその関連施設は破壊されており、わずかに床面のみが検出された。甕・壺類などが出土している。
- \* 桜(さくら)鐘(かね)古窯群: 鎌倉時代に操業したと推定される窯跡群。7基の窯体が検出されている。出土遺物は、壺、甕、鉢が中心であり、これに山茶碗、小皿が加わる。
- \* 別岨(べっそ)古窯群: 平安時代末～鎌倉時代前期に操業したと推定される窯跡群。3基の窯体が検出されている。山茶碗が多く出土している。

---

#### 5月23日更新 豊田市立浄水北小学校で出前授業を行いました。

---

調査研究課の尾崎です。

5月16日(月曜日)に**豊田市の浄水北小学校で出前授業を行いました**。授業は6年生の3クラスを対象に行い、95名の児童の方に参加していただきました。

今回は、「本物の遺物に触れ、質感等を感じることで歴史への興味・関心を高めること」「遺跡の発掘調査や埋蔵文化財について知ることにより、歴史的視野を広げること」を目標に、「実物に触れる歴史学習」という主題で授業を行いました。授業では、遺跡から出土した**本物の縄文土器、弥生土器、須恵器、石器**を用いました。

はじめに、土器と石器を観察するときに注目すること(色、形、模様、重さ、質感など)を説明し、その後、実際に触れて観察してもらいました。児童のみなさんは、周りの人と特徴を言い合いながら真剣に土器を観察していました。

班ごとに縄文土器、弥生土器、須恵器に実際に触れてみて感じたこと、気づいたことを発表してもらった時には、「思っていたよりも軽い」「教科書で習ったことと同じだ」「ざらざらしている」などの意見があり、最初に私が説明した観察のポイントをよく理解しているなど感じました。

実は今回、私自身初めて授業を行いました。緊張してうまく話すことができない場面も何度かあったのですが、児童のみなさんの熱いまなざしを見て、私自身も「しっかり考古学の魅力を伝えなければ！」という気持ちになることができました。真剣に授業を受けてくれた浄水北小学校の皆さん！ありがとうございます！

今後も当センターでは出前授業を続けていきます。御活用よろしくお願いします！





出前授業の様子

---

5月23日更新 当センターの資料が大府市歴史民俗資料館の企画展に展示されます。

---

調査研究課の尾崎です。

5月10日(火曜日)に大府市歴史民俗資料館の方々が来館され、当センターの保管資料である薬師ヶ根(やくしがね)遺跡出土のナイフ形石器の貸し出しを行いました。



資料貸し出しの様子

このナイフ形石器は、大府市歴史民俗資料館の企画展『衣ヶ浦の歴史1 海から眺めた原始・古代の遺跡』に展示されます。

企画展は5月21日(土曜日)から6月26日(日曜日)まで開催されます。

大府市歴史民俗資料館へぜひとも御来館ください！

\* ナイフ形石器：後期旧石器時代(約35000～12000年前)を代表する石器。石刃(せきじん)技法によって作り出される。

石刃(せきじん)技法とは、もととなる石を荒割りして石核の素材を作り出した後、調整しながら石核を作り、これに連続的に加撃してほぼ同形の剥片を多数生産する技法である。できた剥片を石刃と呼び、二次加工を加えてナイフ形石器などが出来上がる。

企画展「惣作遺跡発見60周年記念」  
ころもがうら

# 衣ヶ浦の歴史Ⅰ

海から眺めた原始・古代の遺跡  
平成28年5月21日(土)～6月26日(日)

関連事業  
「歴史講座」シリーズ 第1回  
知多半島の製塩遺跡

日 時：平成28年6月5日(日) 午後1時30分～3時  
場 所：歴史民俗資料館会議室  
講 師：立松 勇 氏(東海市平瀬記念館 館長)  
対 象：一般 定員：30名(先着順) 費用：320円(受講料として)  
申込み：5月16日(火)より 料金を添えて歴史民俗資料館へ  
※講師終了後、対象学芸員による展示説明会があります。

大府市歴史民俗資料館

付設  
案内図

●主催／大府市歴史民俗資料館  
●後援／中日新聞社  
●開館時間／午前9時～午後6時(入場は午後5時30分まで)  
●休館日／毎週月曜日  
5月27日(金)・6月24日(金)

入場無料



〒474-0206 愛知県大府市城山町五丁目180-1 TEL.0562-48-1809 FAX.0562-44-0033

大府市歴史民俗資料館(大府市城山町五丁目180-1)

---

## 5月23日更新 半田市立博物館の学芸員の方々が資料実見のため来館されました。

---

調査研究課の尾崎です。

5月6日(金曜日)に半田市立博物館の学芸員の方々が資料実見のために来館されました。

実見の対象となったのは、烏帽子(えぼし)遺跡(東海市高横須賀町)と松崎遺跡(東海市太田町)から出土した土器です。

\* 烏帽子(えぼし)遺跡: 弥生時代から古代及び近世の遺構・遺物が検出された複合遺跡。弥生時代から古代に関しては、調査区全域に及ぶ層から**弥生時代中期後半の土器、須恵器、製塩土器が大量に出土している。**

またこの遺跡の周辺には、17世紀後半に尾張藩の2代藩主徳川光友の別荘「**横須賀御殿**」が造営されており、この御殿の様相を示す絵図の中に、横須賀御殿窯の存在を示す記載があった。発掘調査によって香炉、茶入れなどの茶器類、碗類などの破片や窯道具が見つかり、御庭焼の存在が確認された。

\* 松崎遺跡: 古墳時代から奈良・平安時代にわたり、**土器を用いて塩づくりを行った海浜集落遺跡**。古墳時代の遺物としては**多数の土師器、須恵器、製塩土器**が出土しており、古代の生活や生産の様相が発掘調査を通して明らかになった。



遺物実見の様子

---

#### 5月6日更新 清林館高等学校にて出前授業を行いました。

---

調査研究課の尾崎です。

4月28日(木曜日)に津島市の清林館高等学校にて、第2学年文系生徒を対象に出前授業を行いました。講座は、2限、4限、5限の時間を使って行い、2限に22名、4限に9名、5限に38名の生徒さんに参加していただきました。

今回は、「埋蔵文化財の調査、保存の意義についての認識を深めること」「本物の遺物に触れ、質感等を感じることで歴史への興味・関心を高めること」「土器の用途について類推し、歴史的思考力を養い、土器が人間社会に及ぼした影響について自ら考えること」を目標として、「**実物にふれる歴史学習～土器から見た社会の移り変わり～**」をテーマに授業を行いました。

はじめに、埋蔵文化財について説明するとともに、調査センターの仕事を解説しました。また清林館高校周辺の遺跡についても『**愛知県文化財マップ**』を用いて紹介しました。生徒さんたちは、自分たちの通う学校の近くにも遺跡が存在していることを知って、興味を持たれていました。

その後、縄文から古墳時代までの煮炊(にたき)具(ぐ)に実際に触れてもらい、「各土器にどのような特徴があるのか」「どのように使われたのか」「いつの時代に使用されていたのか」を考えてもらい、班ごとに発表していただきました。

生徒さんたちは熱心に土器を観察し、「こんな特徴がある！」や「こんな風に使われたのかな？」など考察されていたのが印象的でした。中には「変な匂いがする！」などの発言もあり、普段土器を観察する際、匂いに着目していない私にとっては新鮮で、驚きでした。

調査センターでは、今後も出前講座を行っていきます。御活用よろしくお願いします。



出前授業の様子。

## 4月20日更新 愛知県立碧南高等学校で出前授業をしました。

調査研究課の成瀬です。

### 3月3日(木曜日)、愛知県立碧南高等学校で第2学年文系生徒を対象に出前授業を行いました。

今回の授業では、「本物の遺物に触れ、質感などを感じることで、歴史への興味・関心を高める。」「土器の用途について類推し、歴史的思考能力を養う。」「遺跡の発掘調査や埋蔵文化財について知ることにより、歴史的視野を広げる。」を目標として、「総合学習の時間」を利用した授業となりました。

はじめに、現在調査中の**豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業関連遺跡**についての成果の説明と発掘調査の手順について紹介しました。生徒の皆さんは、現在、愛知県内で行われている発掘調査に興味を示すとともに、発掘調査に至るまでの過程に新鮮な驚きを感じていました。

次に、「**土器の用途について考える主題学習**」では、遺物として瀬戸市の広久手26号窯から出土した山茶碗などと、東海市の松崎遺跡で出土した製塩土器を持参しました。製塩土器については名称や使い方などは一切言わず、遺跡の立地している環境、土器の出土した状況などを説明し、その後、実際の製塩土器の脚部を触ってもらいながら、用途・使い方について考えてもらいました。

生徒の皆さんは、本物の土器をじっくり見たり、互いに意見を出し合ったりしながら、考察を深めていました。時にはクラスメートの意見に「それだ。」「すごい。」などの声が、会場となった武道場のあちこちから上がっていました。

### 生徒の皆さんの感想の一部を以下に紹介します。

・遺跡を見つけるために、多くの準備が必要だというのには驚いた。さらに遺跡の中から出土した土器がほとんどかけらや一部に過ぎないこと、完全にそろったものは限られているということにも驚き、大変な仕事なんだなと思いました。実際に触れてみて分かったこともたくさんあります。同じ形をしているのにザラザラしているものやツルツルしているものもあり不思議でした。考古学には自分は興味があったので、有意義に時間が過ごせてよかったです。

・最初、土器のことをやるといわれて正直「えー」と思いました。でも、実際に体験して、土器の一部などに触れてみると、すごく興味がわきました。友達と、「これって、こう使うのかな？」とたくさん相談しあいました。数学のようにすぐ答えが分かってしまう勉強とは違い、たくさん考えて答えを知ることは普通の勉強では培わないことなので、十重も新鮮でした。

・今まで写真とかでしか見た音のなかったものを実際に触れることができているいい経験になりました。土器の素材が今の時代でもよくみられるような素材だったのでごく昔のものだけど身近に感じました。

・完全体として世に知られている土器以外にも多くのものが発見されていたというのは初めて知りました。今まで見つけられていた土器等はいろいろな方々の力によって修復されたものだったということを知って、土器に対する見方が少し変わりそうでした。私が今回の授業で特に強く印象に残っているのは土器のかけらに触れさせていただいたことです。生まれて初めて土器というものを生で見ると触れることによって、自分の持っていた土器に対するとんでもなく脆そうだという考えを改めることができました。



---

4月5日更新 『春の特別公開 2016』が始まりました。

---

調査研究課の尾崎です。

今年も『春の特別公開』が始まりました。

『春の特別公開 2016』では、普段は公開されていない国の重要文化財である朝日遺跡出土の土器4点を展示しています。

また(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センターでは、『やとみ新発見展 2016』が開催しており、昨年度愛知県下の発掘調査で見つかったさまざまな出土遺物を展示しています。

ここでは、弥富市の『やとみ春まつり』に合わせて開催された4月2日、3日の様子を紹介していきたいと思います。

2日、3日は、出土遺物の展示に加え、当センターが**火おこし体験**、**わなげ**、埋文センターが**キネクトゲーム**という楽しいイベントも行いました。小さな子供から大人まで大勢の来館者が楽しまれていました。

わなげコーナーでは愛知県立海翔高等学校ボランティア部の生徒さんたちが、スタッフとしてお手伝いをしてくださいました。来館者の方へ優しく、丁寧な対応をしていただき本当に助かりました。

この2日間の特別公開では、初日の**2日に310名**、**3日に424名**と**700名を超える方々に来館していただきました**。ご来館ありがとうございました。

なお、**重要文化財の展示を含む『春の特別公開 2016』**は、4月17日(日曜日)まで(4月9日、10日は休館日)開催しております。ご来館をお待ちしております。



愛知県埋蔵文化財調査センター



朝日遺跡出土の重要文化財



説明を受ける海翔高校のみなさん



火おこし体験の様子



わなげの様子



キネクトゲーム

---

**4月2日更新 愛知県史編さん事業に関連して、当センターで収蔵・保管している資料の写真撮影が行われました。**

---

調査研究課の尾崎です。

3月25日(金曜日)、愛知県史編さん委員会考古部会並びに愛知県総務部法務文書課県史編さん室から担当者が来館され、当センターで収蔵・保管している資料の写真撮影が行われました。

今回撮影されたのは、**清洲城下町遺跡**(清須市)、**岩倉城遺跡**(岩倉市)、**朝日西遺跡**(清須市)からの出土資料です。

県史編さん事業は、「愛知県の原始・古代から現代に至る歴史的発展過程を明らかにし、県民のふるさと愛知に対する理解を深めるとともに、多くの貴重な資料を県民共通の財産として後世に残し、県の学術及び文化の振興に資すること。」を目的に進められています。当センターが収蔵・管理する資料は、まさに県民共通の財産であり、これらの資料が有効活用され、県民の皆さまの埋蔵文化財に関する理解が深まることにつながれば幸いです。





上段(左)撮影の様子 (右)朝日西遺跡出土墨書曲物

下段(左)岩倉城遺跡出土絵馬 (右)清洲城下町遺跡出土資料

### 関連コンテンツ

- [愛知県埋蔵文化財調査センター](#)
  - [総務課](#)
  - [事業の内容](#)
  - [利用の案内](#)
  - [アクセスマップ](#)
  - [アーカイブ](#)
  - [平成27年度 発掘調査報告](#)
  - [平成27年度 お知らせ](#)
  - [平成28年度 活動報告](#)
  - [平成27年度 整理作業報告](#)

### 問合せ

愛知県 埋蔵文化財調査センター

電話: 0567-67-4164

E-mail: [maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp](mailto:maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp)

[一つ前のページに戻る](#)

[このページのトップへ](#)

[このホームページについて](#)

[個人情報の取扱い](#)

[免責事項・リンク](#)

[RSS配信](#)

 シェアする

 ツイート

 LINEで送る

[ソーシャルメディア一覧へ](#)

## 愛知県

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 代表電話: 052-961-2111 ([県機関の連絡先はこちら](#))  
法人番号1000020230006

Copyright (C) Aichi Prefecture. All rights reserved.